

平成26年度 関東東海北陸・近畿中国四国農業試験研究推進会議
合同茶業部会現地研究会開催要領

部会長 野菜茶業研究所 茶業研究監 吉田 建実

1. 趣旨

近年、緑茶リーフの需要が低迷する中、菓子類からドリンクまで食品加工原料として主に粉末茶としての利用形態が増加してきている。しかし、その形態は様々で碾茶に近い状態の被覆芽を原料とした上級品から、露地の硬化葉を原料とした下級品や、煎茶として加工された出物の粉末化など、様々な形態が存在している。

さらに、それぞれの品質規格も多様で、各ニーズに応じた個別的な対応にとどまっておらず、海外からの低価格な原料参入の懸念も叫ばれる。

そこで、各生産地における現状及び動向を情報交換し、技術的課題の抽出と解決策の構築に資するものとする。

2. 開催日時

平成26年10月16日（木）13：00 ～ 17日（金）12：00

3. 開催場所

(1) 研究会（1日目）

じばさん三重（公益財団法人三重北勢地域地場産業振興センター）4F視聴覚室
（三重県四日市市安島1丁目3番18号 TEL：059-353-8100）

※近鉄四日市駅から徒歩5分

(2) 現地視察（2日目）

三重県四日市市水沢町

1) 水沢茶農業協同組合

（三重県におけるもが茶をはじめとする加工原料仕向け緑茶の現状）

製茶施設視察（鎌田隆郎氏説明 所在地：三重県四日市市水沢町2441-3）

茶園視察（松ヶ谷祐二氏説明）

2) (株) ささら

（衛生的な大規模もが茶生産茶工場）

茶生産施設視察（大野博司氏説明 所在地：三重県鈴鹿市椿一宮町3000）

4. 検討事項

テーマ「食品加工原料仕向け緑茶の現状と技術的課題」

(1) 10月16日（木）13：00～17：00

検討会 ①挨拶・情勢報告 部会長、農林水産省、等

②講演

・演題 「抹茶および緑茶粉末へ実需から要望」（40分）

講師 株式会社 葵製茶 本田 忠彦氏

・演題 「粉末茶の品質評価研究の現状」（20分）

講師 農研機構本部 氏原ともみ氏

・演題 「抹茶の定義について」（20分）

講師 農研機構野菜茶業研究所 角川 修氏

③各府県の現状、問題点および総合討論

(2) 10月17日（金）9：00～12：00

現地視察 三重県四日市市水沢町

水沢茶農業協同組合及び(株) ささら 茶生産施設

5. 参集範囲

農林水産省生産局、農林水産省技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、近畿農政局、中国四国農政局、関東東海北陸・近畿中国四国各府県茶業関係行政・試験研究機関、野菜茶業研究所、中央農業総合研究センター、近畿中国四国農業研究センター、その他部会長が必要と認めた者

6. 連絡先

野菜茶業研究所 企画管理部 業務推進室 茶業チーム 池杉美知男

TEL : 0547-45-4105 E-mail : kikaku-cha@ml.affrc.go.jp

7. その他

参加申し込み、資料提出、その他の詳細については、別途ご連絡します。

合同茶業部会 現地研究会 開催日程

部会長 野菜茶業研究所 茶業研究監 吉田 建実

テーマ「食品加工原料仕向け緑茶の現状と技術的課題」

【10月16日（木）研究会】

- 13:00～13:05 開会・挨拶
部会長、三重県農業研究所所長
- 13:05～13:15 情勢報告等
農林水産省 生産局、農政局
- 13:15～14:35 講演
- ・演題 「抹茶および緑茶粉末へ実需から要望」（40分）
講師 株式会社 葵製茶 本田 忠彦氏
 - ・演題 「粉末茶の品質評価研究の現状」（20分）
講師 農研機構本部 氏原ともみ氏
 - ・演題 「抹茶の定義について」（20分）
講師 農研機構野菜茶業研究所 角川 修氏
- 14:35～14:50 休憩
- 14:50～15:50 各府県の現状、問題点報告
- 15:50～16:40 総合討論
- 16:40～17:00 検討事項 部会事務局
- 17:00 閉会

【10月17日（金）現地視察】

- 9:00 近鉄四日市駅西口 集合
- 9:30～10:30 水沢茶農業協同組合視察
- 10:45～11:30 (株) ささら視察
- 12:00 近鉄四日市駅 解散